

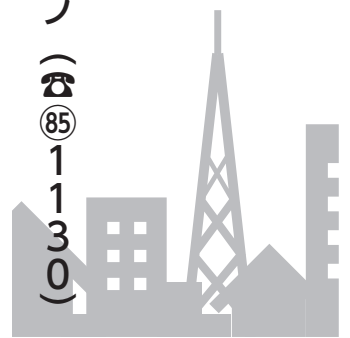
11.27

大規模停電

あの日を忘れない

学んだことを生かそう

問い合わせ 総務グループ (☎85)1130



平成24年11月27日、暴風雪により送電線鉄塔が倒れ、大規模停電が発生しました。市内2万1千320戸が停電し、4日間にも及ぶ長い停電となりました。あの大規模停電から間もなく1年になります。今号では、大規模停電を教訓とした市や市民活動団体などの取り組みなどを紹介します。

昨年発生した大規模停電を踏まえて、市で次の取り組みを実施しています。

各避難所の 災害時備蓄品の整備

昨年の停電は11月末の冬期間に発生しました。電力の供給が止まり家庭では灯油ストーブが

使用できませんでしたが、各関係機関や民間企業から毛布やポータブルストーブなどの支援があり、



▲寄せられた救援物資

避難所では暖を取ることができず、

市は、今回の大規模停電を教訓とし、避難所への毛布や停電時にも利用できるガスストーブ、非常用ガス発電機の備蓄を進めており、冬季の災害にも対応できる体制づくりを進めています。

市民に正確な情報を 伝達する広報活動

大規模停電発生時、避難所情報を広報車で広報していましたが、聞こえなかったとの意見が多く寄せられました。これを改善するために、スピーカーを4方向に搭載した広報車の整備と広報車による周知方法の見直しを行いました。この取り組みの効果については、総合防災訓練や各

町内会の避難訓練などでの広報活動を通して、検証を進めています。

災害に強いまちを 実現するために

市は、他自治体や関係機関、民間企業などと災害時における支援協定を締結しています。大規模停電発生時には生活必需品や暖房器具の提供を受け、協定が効果的であることが実証されました。

現在は、札内町に建設されている太陽光発電施設の電気を災害時に利用できるよう、協定の締結を進めています。今後も他の自治体や関係機関との連携、迅速な応急・復旧活動を行えるよう、各種の災害に対応した多角的な協定の締結に取り組んでいきます。

当時の気象の概要

11月27日、低気圧が発達しながら胆振・日高地方を通過し、強い冬型の気圧配置となって寒気が流入しました。このため、低気圧通過後は西寄りの風が、明け方から朝にかけて急速に強まり、雨が湿り雪に変わって、暴風による被害が発生しました。市内では、最大瞬間風速24.2m/sを観測しました。これは11月27日時点では観測史上歴代1位の風速でした。



▲強風によって倒れた木

被害状況

暴風により、住家21棟、非住家6棟、公共施設などの建物破損32施設、道路3箇所、倒木75本の被害が発生しました。

また、停電により商店が営業ができななどの甚大な被害が発生しました。

いざというとき 慌てないように

今回の停電では、停電発生直後にポータブルストーブや乾電池などを購入する方が多く見られました。

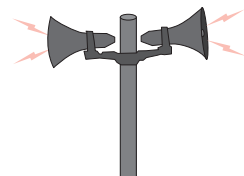
「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われます。自然の猛威を防ぐことは難しく、災害はいつ起こるかも分かりません。日ごろからの備えを大切に、万が一災害が発生した場合にも落ち着いて行動できる準備をしておきましょう。

停電に備えて用意しておくもの

- 携帯ラジオ
- 懐中電灯・ろうそく・ランタン
- カセットコンロ
- ポータブルストーブ（電池式）
- 使い切りカイロ・湯たんぽ
- 乾電池
- 携帯電話の乾電池式充電器

また、停電時には市内で暴風が発生したことにより、各家庭の庭の木が倒れたという電話が市にたくさん寄せられました。自分の財産は自分で守るという原則に立ち、異変を感じたときには自らテレビやラジオから情報を集め、サイレンなどにも気を配り、適切に判断し行動できるよ

う備えましょう。



全国からあたたかい 支援の輪

全国各地の企業や商店、団体、個人、自治体などさまざまな方から、食料品や飲料水、懐中電灯、使い切りカイロなど、たくさんの方の支援を受けました。

行政と

市民活動団体の連携

大規模停電が発生した当時、市職員が自主避難者を受け入れるための避難所を開設したり、消防が破損した家屋や倒木の処理に当たったりするなどの対応をしました。

また、市の備蓄などのほか、陸上自衛隊からストーブや毛布などの救済物資の貸与を受け、市民が避難生活を送るための態勢を整えました。

避難所では、多くの市民活動団体による炊き出し支援がありました。冬季の避難生活の中で温かい食事の

提供は、困難の中にある避難者の大きな助けとなりました。

また、市連合町内会は、市内の停電状況などの情報共有や高齢者の安否確認などを実施し、自分たちの命は自分たちで守るといふ、地域コミュニティによる地域力が発揮されました。



▲炊き出しの様子

自助・共助・公助で 減災を推進

大規模停電という全国でも類のない経験を私たちがだからこそ、この経験を生かし、災害時に自分で行うことができる地域でできること、行政ができることを一緒に考え、地域防災力の向上に努めましょう。

停電による市の対応

【26日(月)】

21時17分

暴風警

報に伴

う警戒

態勢を

執る

【27日(火)】

7時45分

市内全

域で停

電発生

12時50分

北海道電力(株)から説明が

あり、停電の原因が送電線鉄塔の

倒壊によるものであり、復旧に3

日程度かかることが判明

〈15時〜21時 最大2万1千320世帯

が停電〉

17時〜 避難所を開設（鷺別公民館、

富岸小学校、市民会館、婦人セン

ター、登別温泉(公民館)

【28日(水)】

16時30分〜 避難所追加開設（鉄南

ふれあいセンター、常盤婦人研修

の家、老人憩の家(ごしの家)

【30日(金)】

4時50分 送電線の復旧により、電

力供給開始。避難所を順次閉鎖

20時 最後の避難所を閉鎖し、警戒

態勢を解く



▲倒壊した電線鉄塔